



新年度のスタートにあたって

◆ 4月は新しいスタートのとき

4月5日に晴れて241名の新入生が入学し、新たな吉田高校がスタートしました。1年生のみなさん、ご入学誠にありがとうございます。そして、ようこそ長野吉田高校へ。また、2年生もクラス替えを行い、1年生同様期待と不安が入り混じった気持ちですね。さらに3年生は、最終学年の重圧や2回目を迎える大学入学共通テストへの関心とともに、それに対する闘志も沸いているでしょう。新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響を受け、今年の今頃はほぼ全国の学校が一斉休校となる異例の事態を迎えていました。今なお先行きが不透明で第4波も懸念される中、正しい知識を持ち、いま心に抱いている前向きな気持ちを大切に、冷静に高校生活をスタートさせましょう。

◆ 「すごくつらくてしんどくても、努力は必ず報われるんだなと思った」(池江璃花子)

4月4日東京オリンピックの代表選考を兼ねた競泳の日本選手権で、女子100メートルバタフライ決勝は、白血病で長期療養していた池江璃花子選手が3年ぶりの優勝を果たしました。400メートルメドレーリレーの派遣標準記録も突破し、リレーメンバーとしての東京五輪出場も決まりました。レース後のインタビューでは、「まさか100メートルで優勝できると思っていなかった。5年前の五輪選考会よりもずっと自信もなかったし、自分が勝てるのはずっと先のことだと思っていたが、勝つための練習もしっかりやってきたし、最後は『ただいま』っていう気持ちで入場してきたので、自分がすごくつらくてしんどくても努力は必ず報われるんだなと思った」と、万感の思いを胸に涙ぐみながらコメントした姿が印象的でした。当初東京オリンピックで金メダルが確実とまでメディアで取り上げられた中での白血病による闘病生活が、池江選手に及ぼした体力面・精神面でのダメージは想像を絶するものがあります。上記のコメントは、才能に溢れるアスリートであっても、病の前では一人の人間として抱いた恐怖、長期間練習から離れた不安、そしてそれを乗り越えた自信が凝縮された思いと感じられ、私たちに人生を送る上で勇気と指針、さらに多くの示唆を与えてくれるものです。開催の実施形態に不安はつきまといますが、平和の象徴であるオリンピックが東日本大震災からの復興五輪であることに加え、目に見えない敵からの全世界の復興となることも祈念したいものです。

◆ 高等学校で学ぶ意義

学びが武器となるのは、生きる術と課題の解決法を得るからです。なかでも21世紀の日本・世界・地球が直面している課題は、持続可能な共生社会の実現です。日々の授業で人類の叡智を吸収し、教養を身に付け知性を磨いてください。そして高校の先にある高度な学びを熱望しましょう。これから皆さんが主体的に学ぶとともに、謙虚に学ぶことを願います。さらに現在、高校は成人を控えた最後の学びの場でもあります。公職選挙法の選挙権と憲法改正国民投票の投票権が18歳に引き下げられました。2022年4月には民法の成年年齢が18歳となり、親の同意を得ずとも自分の意志で様々な契約や決定が可能となります。高校卒業までには誰もが主権者となり、独立した成人となることを自覚して学びましょう。

令和2年(2020年)度卒業生合格状況(全日制)

1. 進路決定者(実数)

2021/3/30現在

	四年制大学	短期大学	専門学校・その他	進学準備	就職	自営	卒業生数
男子	88	1	2	26	0	0	117
女子	133	8	4	10	0	0	155
合計	221	9	6	36	0	0	272

2. 合格先(延べ数)

国公立大学 140名

帯広畜産1 北海道教育1 東北1 山形1 福島1 茨城2 宇都宮1 群馬2
 埼玉6 横浜国立2 新潟4 上越教育3 富山21 金沢5 山梨3 福井2
 信州35 静岡3 愛知教育1 京都工芸繊維1 宮崎1
 千葉県立保健医療1 高崎経済5 前橋工科1 長岡造形2 新潟県立4 新潟県立看護2 富山県立1 公立小松1
 福井県立1 山梨県立1 長野県立8 長野5 公立諏訪東京理科5 長野県看護3 静岡県立1 静岡文化芸術1
 福知山公立1

私立大学 393名

つくば国際1 亜細亜5 愛知医科1 愛知学院2 愛知工業1 杏林2 鎌倉女子1 関西2
 関東学院4 岐阜聖徳学園1 宮城学院女子1 京都産業6 京都女子1 共立女子1 玉川6 桐蔭横浜1
 近畿7 金沢学院2 金沢工業12 金沢星稜2 駒澤13 群馬パース2 慶應義塾1 工学院3
 高崎健康福祉5 高崎商科1 国士館2 国立音楽1 佐久10 桜美林10 山梨学院2 産業能率4
 実践女子2 芝浦工業3 秀明1 順天堂2 昭和女子1 松本10 松本看護大学1 上智2
 常磐1 常葉7 新潟医療福祉8 新潟工科2 神戸国際1 神田外語1 神奈川20 神奈川工科2
 清泉女学院13 聖学院1 聖徳1 青山学院1 石巻専修1 千葉工業7 専修11 創価2
 多摩美術1 大正1 大東文化15 拓殖1 中京8 中部1 長野保健医療1 追手門学院2
 帝京2 帝京科学2 東海5 東海学園2 東京家政1 東京経済3 東京電機4 東京都市1
 東京農業3 東邦3 東北学院2 東洋33 奈良1 南山2 日本3 日本工業1
 日本社会事業2 日本赤十字豊田看護1 日本福祉4 白鷗3 富山国際2 武蔵2 武蔵野3 文化学園1
 文京学院2 文教11 法政5 北里2 北陸2 名古屋学院1 名古屋経済2 名城4
 明海2 明治2 明治学院2 明星4 目白1 立教1 立正2 立命館1
 流通経済1 龍谷3 和光1 國學院1 獨協3

公立短期大学 1名

大月短大1

短期大学校 1名

長野県工科短期大学校1

私立短期大学 12名

金沢学院短大1 上田女子短大1 信州豊南短大1 清泉女学院短大8 千葉経済短大1

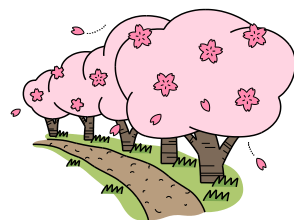
専門学校 9名

高崎動物専門学校1 諏訪赤十字看護専1 須坂看護3

総合学園ヒューマンアカデミー1 大原簿記情報ビジネス医療専門学校1 長野調理製菓専門学校1 日本電子専門学校1

旅立ちに向けた1年間

来年1月15日（土）16日（日）には大学入学共通テストが実施されます。センター試験の後継として昨年初の共通テストが実施され、本校卒業生は素晴らしい結果を残し、本校を巣立って行きました。今年度初回となる来週土曜日に予定されている全統共通マーク模試も、午後7時近くまでの長丁場です。志望校の合格に必要なのは、学力だけではありません。気力と体力がともに不可欠です。誰にとってもつらく苦しい大学受験とは、やはり高校生のような心技体に充実した年頃だからこそ乗り越えられる試練であり、君たちを大きく成長させることでしょう。



◆本校の精神は「晴耕雨読」、君の人生にとってこの1年間の意義は何か

文武両道は本校のモットーですが、生徒がその本分である学習を生活の根幹として、班活動ほか様々な活動に努力すべきこと、そうして心技体にバランスよく成長するべきことは自明です。この先の上級学校合格や就職内定までには、これら高校生活を通じて培った総合的な力が試されていくこととなります。

一方、本校の精神は、校歌にもあるようにあくまでも『晴耕雨読』です。「時に応じ、やるべきことに懸命に取り組む」との言葉は、とても文化的で素敵です。皆さんにとってこの1年間は、旅立ちに向けて最大限の努力をする時に他なりません。そしてまた、この密度の濃い1年間が皆さんをさらに鍛え、未知の可能性を引き出し、新たなステージへと引き上げてくれるはずです。

◆忙しい時ほど授業を大切にす

学校生活の大半は授業であり、3年生では内容が徐々に入試向けになります。だからこそ、一番効率の良い勉強方法は授業を中心に据えて集中することです。昨年度の入試でも、授業をないがしろにしていた先輩は結果を出していません。また、1学期は班活、暁峰祭と多忙を極めますが、そういう時こそ、授業のポイントはその日のうちに覚えてしまうつもりで、毎日の予習・復習や課題テストの準備を家庭学習の中心に据えることです。何とか学習に食らいついているという実感が持て、学習にリズムが生まれます。もちろん、時間と体力に余裕のある人は、その限りではありません。現在、通常に近いかたちで学校生活をスタートできていますので、毎日の授業を一時間一時間大切にしましょう。

◆基本的な生活習慣の確立（遅刻・欠席、提出期限、生活のきまり）

新年度のスタートにあたり、まず留意してほしいことを述べます。学校生活では、朝、気持ちよくスタートできるかが大切です。今年の授業はすべて講座別で行われ、遅刻・欠課は授業に向かうムードを損ないます。また、それらが重なると友人や周囲に心配をかけます。自分の行動が周囲に影響を及ぼしていることを察する想像力を持ちましょう。社会に出ると、約束を守らない人間は信用されません。「ルール」を守る習慣は“あなたにとって”得策なのです。この1年間は、高校卒業後にも通用する生活態度を求めていきます。自己の健康管理に責任を持ち、挨拶・清掃・頭髪など「生活のきまり」は徹底してください。

◆大会、暁峰祭で力を出し切る

最終学年としてのポイントは、最後の大会、暁峰祭で、今まで培ってきた力を存分に発揮し、楽しむこと、そして喜びや悲しみを仲間と分かち合うことです。持てる力とエネルギー

を完全に燃焼させてこそ、次のステップにスムーズに進んでいくことができます。いつも言われる「勉強しなさい」とは矛盾するように聞こえるかもしれませんが、そうではありません。大切なことは、試合の勝敗や発表の出来・不出来ではなく、自分の持てるものを全てぶつけたという実感と、それに伴う感動を経験し共有することです。そういう経験をした人は、その後の学習や受験でも、持てるものを全てぶつける努力をし、全力が尽くせるはずです。

◆仲間の存在を忘れない

これから入試まで、いろいろな壁にぶつかるでしょう。そのとき忘れてはいけないのは、自分一人だけが悩んでいるのではないということです。周りにいる吉田高校の仲間が皆同じ不安を抱えながら頑張っていることを思い出してください。入試は団体戦であり、3年生全体が大きな1つのチームなのです。目標は違っても、助け合っていくのがチームメートです。真剣に努力すればするほど悩みや不安が出てくるものです、でも悲しく苦しいのは君だけではありません。同じ班活の仲間、クラスの仲間、授業・講座の仲間とお互いに支え合い、全員で前に進んで行く気持ちを持ちましょう。

◆途中で戦いをやめてはいけなく、最後まで粘り抜く

今年はたくさんの模試を受けることになります。模試では合否判定が出ますが、その結果に過剰に反応し、安易に志望をあきらめたりしてはいけません。もちろん、最終的に出願校を決める際には、夢みたいな志望をあきらめなければならぬかもしれませんが、でも、その時期が来るまでは、可能性を信じて、夢みたいな願望を現実味のある志望とするために粘ることが不可欠です。共通テスト・国公立前期試験・中期試験・後期試験など、途中で戦いをやめてはいけません。皆さんは、一人で戦っているのではない。仲間も家族も先生方も共に戦っています。あなただけの勝手な途中下車はいけません。「受験は団体戦」という言葉は、最後の受験を終えた誰もが実感するものです。

◆卒業生の活躍を勇気に変えて

過去5年間の国公立大学合格者数は95名→134名→106名→122名→140名であり、後輩の皆さんに大きな勇気を与えてくれます。共通点は、多くの3年生が放課後はもちろん、土曜日でも日曜日でも学習を続け、先生方と合格に向けて努力していたことです。また、そんな先輩たちでも皆、くじけそうになる自分を鼓舞し、最後まで頑張った結果なのです。最後の模試までD判定でも、本番で合格を勝ち取った人は一人や二人ではありません。

皆さんにも、きっと出来ます。そう信じています!

